



韓国星州(ソング)で原発・ミサイル基地建設反対を闘う市民に「市民の会」手塚・松田が激励物を手渡し交歓。民衆の連帯の力で「共に、平和を！」(5/27 大阪市)

平和がいちばん

2018年6月15日 第 132 号
平和で豊かな枚方を
市民みんなで作る会

高齢者を切り捨てる市政を変えよう

2025年、65歳以上の高齢者の人口割合は枚方市においても30%、後期高齢者人口は18%と予測されています。高齢者施策は“待った”が許されない状況です。

介護保険制度は、要支援1、2の方のサービスが介護保険から切り離され地域総合事業へと組み込まれましたが今後、要介護1、2のサービスも切り離す動きもあります。市の財政状況によってサービスが左右されます。また介護度を軽減させた自治体には交付金を増額するとか、デイサービスの利用者が食事、着替え、トイレ等を手助けなしにできるようになれば「成功報酬」を事業者に交付する「加算制度」が導入された結果、事業者内での利用者へのリハビリの無理強いや評価を偽るなどの弊害が出てくるおそれがあります。また事業所が「改善」（機能回復のこと）が見込まれる利用者を優先的に受け入れ、より介護の必要な人が利用できなくなる可能性もあります。

一方で枚方市の高齢者施策では、今年度で暫定措置の切れる高齢者外出支援の施策について、まだ具体策を決めていません。高齢者が自由に外出できるためには、公共交通の利便性が何よりも大切です。そのためには公費による財政的な支援も不可欠です。お年寄りが住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくために、枚方市として独自にできることを考えていくことが必要です。例えば、小人用ICカードのように証明書があれば、半額のICカードが買えるとか、またある一定の年齢を超えれば運賃を無料にするなど公的な助成による抜本的な施策を求めます。この4月からバス路線が廃止された地域があります。また「100円バス」も廃止されるなど、交通弱者に厳しい状況が起こっています。枚方市は高齢化社会における公共交通の重要性を認識し、住みやすい町づくりの政策を立案するべきです。私たちは要求を実現するため全力でがんばります。

意見

平和を護れ

枚方市一言居士

<お悔やみ>

家高憲三さん(元枚方市教育長)が5月22日逝去されました。享年86歳でした。家高さんには「市民の会」設立時から共同代表を務めていただき、豊富な運動と行政での経験を活かして「会」の政策立案や運営にご指導いただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



祖国日本は、敗戦後七十三年間他国と戦わない平和な時代を過ごしてきた。それを支えてきたのは、世界に誇れる平和憲法に他ならない。一切の戦力を持たず戦争を放棄する精神と、国の主権は国民に在りと宣言している点に於いて、世界に例を見ない珠玉の法律である。

自衛隊そのものは、この平和憲法に反するが、他国を攻撃せず、専守防衛の観点から存続を黙認されてきた。

しかし、第一次世界大戦後、しばらく続いた大正デモクラシー時代の平和が、軍部という独裁権力によって徐々に破壊され、いつの間にか日本は軍事優先国家となり、四百萬人の命が失われ、国民生活が破壊されつくしたことを忘れてはいけない。

現在、一党独裁権力集団は、数を頼んでやりたい放題とも言える政策を強化し、憲法改正を公然と口に出している。憲法を変えることにより、自衛隊は他国と交戦出来る軍隊となり、それは、徴兵制を復活させる動機に繋がる。

今こそ、主権者たる国民は、平和憲法を護らなければならぬ。

ホッと タイム

若い世代への戦争体験の 継承が平和教育の原点

松田久子



枚方市の原爆被爆者の会の代表の森容香さんの話をお聞きしました。森さんは5歳の時に広島で原爆の被害にあいながらも奇跡的に助かり、現在に至っていると話されています。今は市内の小学校で、広島への修学旅行に向けた事前学習として被爆体験を子どもたちに伝える語り部の活動しておられます。この戦争体験の継承は未来を担う子どもたちにとって、何よりも大切なことです。戦争体験者が少なくなる状況ではありますが、現地訪問と共に平和教育の原点であるこのような取り組みを市としても是非、バックアップしていく必要があると思います。

そして森さんは「核兵器禁止条約」への参加を呼び掛ける「ヒバクシャ国際署名」の呼びかけ人でもあります。その森さんが枚方市長に面会し「市長も署名を！」と要請したところ署名を拒否されたとのこと。「非核平和都市宣言」を府下でいち早く行った自治体であり、平和首長会議の副議長でもある枚方市長がなぜ署名を拒むのでしょうか。かつて枚方市は『平和の船』を広島、長崎に航させ、広く市民への啓蒙や教育を行って来ました。

戦争準備のための改憲論議が行われる今、平和都市枚方の名に恥じない平和教育を進めるためにも、市長は「ヒバクシャ国際署名」を先頭にたって広めるべきです。

1957年彦根市生まれ
滋賀大学教育学部卒
81年から枚方市の障がい児施設・高齢者施設で働き 介護職経験33年 ケアマネジャー10年 介護・福祉「すずらんの集い」代表

手塚たかひろ 議員日誌



5月19日 **3000万人署名行動** 市駅市民アクション行動、24日香里ヶ丘まんだい前、25日市駅前、26日樟葉駅前の行動に参加。森友・加計問題、安倍首相の無責任な答弁に市民は納得していない、怒っている。

5月27日 **日韓連帯スピーキングツアー大阪集会に参加** パククネ前大統領を倒したロウソク革命。韓国全土で延べ1600万人の市民が立ち上がったと言われている。集会でその映像が紹介された。ソウルの大通りが見渡す限り民衆で埋め尽くされ波を打つ。

すごい迫りに体が震えた。安倍政権は民衆に「何を言っても変わらない、数がすべて」と無力感を植え付けようとしている。国民に信用されていないことをわかっているからだ。

5月31日 **森友問題** 大阪地検特捜部は佐川前理財局長ら全員を不起訴にした。公文書の改ざんも、意図的な廃棄も、国会での嘘の答弁も、国有地の大幅値下げの払い下げまでも、いずれもが刑事罰を問えないと地検は説明。このようなことが許されれば、公文書の書き

換え、廃棄はやりたい放題だ。検察の安倍政権への付度と官邸サイドからの圧力を思わせる。市民は納得していない。安倍退陣へあきらめず一人一人が声を上げよう。黙っていたら彼らの思う壺だ。

5月22日 5月分議員報酬から217,400円を大阪法務局へ供託。私は**政務活動費**は受け取っていません。

1947年佐賀県唐津市生まれ
京都大学経済学部卒 京都市役所34年間勤務
主に福祉職場で働く 2011年市議初当選 現在2期目 「市民の会」事務局長

平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

〒573-0027

枚方市大垣内町
2丁目8-27
シンエービル別館A

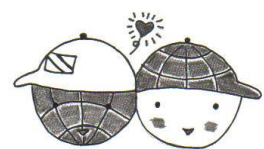
市民の広場ひこばえ
TEL&FAX
072-846-8780

共同代表 鈴木めぐみ (親と子のリズム遊び講師)
奥村 秀二 (弁護士)
おおた幸世 (枚方市平和無防備条例を実現する会)

事務局長 手塚 隆寛 (枚方市会議員)
事務局次長 松田 久子 (「すずらんの集い」代表)

メールアドレス: hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp

ホームページ: <http://hiratkatasiminokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク
塔本賢一さん作